

関連製 品製造 業																							
010904 耐火物 製造業																							
010905 その他 の窯業																							
010909 その他 の土石 製品製 造業				1							1				1							3	
0109 土石製 品製造 業		1		1		2	1		1	1	1	1	1		1	1	1		2	1	1		17
011001 製鉄・ 製鋼・ 圧延業						2	3	1	1	1	2		1	2	2						1		16
011002 鋳物業		1		1		1		1		1		1					1					1	8
011009 その他 の鉄鋼 業		2		2		3	1				3				2		1					1	15
0110 鉄鋼業		3		3		6	4	2	1	2	5	1	1	2	4		2				1	2	39
011101 非鉄金 属精 練・圧 延業																							
011102 非鉄金 属鋳物 業				1													1						2

030103	地下鉄 建設工 事業																				
030104	鉄道軌 道建設 工事業																	1			1
030105	橋梁建 設工事 業																1				1
030106	道路建 設工事 業				1																1
030107	河川土 木工事 業												1								1
030108	砂防工 事業																				
030109	土地整 理土木 工事業							1		1						1					3
030110	上下水 道工事 業							1										1			2
030111	港湾海 岸工事 業						1	1													2
030199	その他 の土木 工事業		1				2		4	1		1				2		1		2	14

0301	土木工 事業		1	2	3	2	5	1	2			1	2	1	2	1	5		28			
030201	鉄骨・ 鉄筋コ ンク リート 造家屋 建築工 事業		8	5	1	5	3	1	3	1	4	6	6	1	2	3		2	51			
030202	木造家 屋建築 工事業		1								1		1			1			4			
030203	建築設 備工事 業		2	2	1	1	1	3	1	1		1		1	1	2	1	1	19			
030209	その他 の建築 工事業		2	1		1	1	2	1	2	1	2	2	3	1	1	1	1	2	1	25	
0302	建築工 事業		13	8	2	1	7	6	5	6	2	3	5	9	9	4	4	6	3	3	3	99
030301	電気通 信工事 業		2		2	1	1	1	1		1	1				1					12	
030302	機械器 具設置 工事業		2		4	1	1	1	3	5	4	3		2			1	1			28	
030309	その他 の建設 業－そ の他			4	1		1	3	4	1	1	1	1	2	1	1		1	1	1	24	

0303 その他の建設業			4		4			7		2		3		5		8		6		6				5		2		2		3		1		1		2		2		1		64																						
03 建設業			18		14			12		5		15		12		13		14		8		3		10		12		13		7		6		9		6		10		4		191																						
040101 鉄道・軌道業																																																																
040102 水運業																																														1																		
040103 航空業																																																																
0401 鉄道・軌道・水運・航空業																																															1																	
040201 ハイヤー・タクシー業																																																1																
040202 バス業																																															1		1		2													
040209 その他の道路旅客運送業																																																																
0402 道路旅客運送業																																																	1		1		1		3									
040301 一般貨物自動車運送業																																																		1		3		1		1		1		1		2		10

17その他 の事業																							
0全産業	3	3	4	2	4	3	3	2	4	3	1	5	2			3	3	3	3	2	4		57

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

アーク溶接装置を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発生時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労働 者 規 模
2014	9	16～17	プレハブ造の事務所を組み立てる際、直流アーク溶接機を用いて、高さ1.9mの位置にある横梁を跨いだ状態で、上部に取り付ける横梁の溶接を行っていたところ、感電し、地面に墜落した。	30201	13	1～9
2014	8	18～19	コンクリート成型機に体を入れ、鉄製プレート成型機のガイドとして溶接していたところ、使用していた電撃防止装置のない交流アーク溶接機の溶接棒が被災者の喉に当たり、感電した。	11301	13	30～49
2014	3	13～14	柱廻り、天井裏の断熱用のウレタンフォームから火災が発生し、1階で床の塗装作業の準備をしていた被災者は、逃げ遅れ、死亡した。	30209	16	10～29
2015	7	15～16	被災者は、交流アーク溶接機を用いて屋外で組み立て中の船体ブロックの手直し作業に従事していたところ、同僚が、当該船体ブロック上で溶接棒と溶接棒ホルダーの上でうつぶせ状態で倒れていた被災者を発見した。作業場所は、上方、後方以外は、75cm間隔の鋼板で覆われていた。被災者の、右肩と後頭部に電撃痕が認められており、死因は、感電死であった。	11501	13	10～29
2015	8	17～18	通常の製造作業終了後、被災者がJIS溶接技能試験の受験を控えているため、アーク溶接の訓練をしていたとき、感電により死亡した。	30201	13	10～29
2015	9	15～16	被災者は金網マルチスポット溶接機の材料搬送装置の修理作業中に、同装置が作動し、同機械に設けられた通路と同装置にはさまれ死亡した。	11209	7	1～9
2016	11	16～17	コンテナ船のホールド内で高所作業車に乗って溶接作業中、何らかの原因によって作業服に着火して燃え、被災した。	11501	11	30～49
2016	7	9～	事業場にある乾燥機内部の損傷箇所（鉄板の穴）をアーク溶接していた被災者が、乾燥機内部で気を失っているのを同僚が発見した。被災者は心肺停止状態で医療機関に搬送されたが、その後死亡した。	10809	13	10～

		10				29
2016	7	9 ～ 10	長さ3.12メートル、幅0.5メートルの金属製構造物（ステージ床面の枠組）をアーク溶接により一人で組立作業中に心肺停止状態で発見された。救急搬送先の病院で災害から5日後に蘇生後脳症により死亡した。	11209	13	10 ～ 29
2017	10	14 ～ 15	被災者は、トラック用タイヤのホイールに鋼材を溶接して、立て看板の土台を制作する作業を行っていたが、14時30分ごろ、事業場代表者が爆発音のような音を聞いたため、事務所から外に出て辺りを見渡したところ、立て看板の制作作業を行っていたはずの被災者が頭から血を流して倒れていた。	150102	6	1～ 9
2017	7	14 ～ 15	耐震補強工事現場においてエンジン式ウェルダールを使用して溶接作業を行っていた作業者が倒れているのを休憩の呼びかけに行った同僚が発見し、救急車にて搬送されたが病院で死亡が確認された。	30201	12	10 ～ 29
2017	2	8 ～ 9	台船の外板の亀裂箇所のアーク溶接作業を行っていたところ、アークが作業着の袖へ燃え移り右腕から胸、側頭部に火傷（熱傷面積37%の重傷熱傷）を負った。被災者は、救急車で病院へ搬送された後に死亡した。	11501	11	1～ 9
2018	12	12 ～ 13	自動溶接機のロールに体がはさまれた状態で発見されたもの。被災者は溶接対象物（単管パイプ（長さ11m30cm、直径6cm）6本を、それぞれの単管の間に棒状の板をはさみ、縦方向に溶接し、いかだ状となったもの）に激突された結果、転倒し、体が当該溶接対象物の上ののって、そのまま運ばれ、進行方向にあったロールに体がはさまれたものと推定される。	11301	6	300 ～ 499
2018	6	10 ～ 11	艦装船の内部で、他の労働者が行う配管のアーク溶接作業中、補助作業をしていた被災者が倒れ、救急車で病院に搬送されたが当日死亡した。	11501	13	1～ 9
2019	11	8 ～ 10	事業場の整備工場内で除雪に使用するトラクター・ショベルのバケット部分に雪を削るための部品を取り付けるため、被災者がアーク溶接作業をしていたところ、溶接の火花が着用していたツナギに飛び火して身体全体に火が回り、火傷（全身の30%がⅡ度、ほか全身の30%がⅢ度）を負ったもの。入院加療していたが、災害発生して13日後に被災者は容態が急変し死亡したもの。	40202	11	10 ～ 29
2019	2	12 ～ 14	5階建冷凍冷蔵倉庫内で荷役作業中、5階フロアから出火し火災が発生し、被災者は初期消火等を試みたため、逃げ遅れ2名が焼死、1名が負傷したもの。火災発生原因は、冷却装置更新工事（脱フロン化工事）に係るアーク溶接作業に起因するもの。	50101	16	300 ～ 499
2019	2	12 ～ 14	5階建冷凍冷蔵倉庫内で荷役作業中、5階フロアから出火し火災が発生し、被災者は初期消火等を試みたため、逃げ遅れ2名が焼死、1名が負傷したもの。火災発生原因は、冷却装置更新工事（脱フロン化工事）に係るアーク溶接作業に起因するもの。	50101	16	300 ～ 499
2019	2	12 ～ 14	5階建冷凍冷蔵倉庫における冷却装置の冷媒を脱フロン化へ切替えるため、関連設備一式を更新する工事において、冷媒配管の敷設に際して、関係請負人が屋上箇所配管同士を接合するため、アーク溶接装置を使用し、断続的に溶接作業等の一連の作業を行っていたところ、5階フロアから出火し火災が発生。被災者は初期消火等を試みたため、逃げ遅れ焼死したもの。	30203	16	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)